



なるほどなっとくニュース

県立山口博物館

学校地域連携担当

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館のホームページでダウンロードすることができます。

県都の中心で、バードウォッチング！ in山口博物館

やまぐちけんちょう やまぐちしやくしょ とちゅう けんりつやまぐちはくぶつかん やまぐちし
山口県庁と山口市役所をつなぐパークロードの途中にある、県立山口博物館。山口市のほぼ
ちゅうしん みどり かこ どうしょくぶつ い はくぶつかん
中心にありますが、緑に囲まれさまざまな動植物が見られます。まさに「生きた博物館」！？



紅葉したモミジなどに留まる「エナガ」(留鳥)。長い尾羽根が特徴。群れでいて、ちょこまか動いて撮影が大変でした。11/23



モミジの落ち葉の上を歩く「キセキレイ」(留鳥)。セキレイのなかまは、地面でエサをついばむ様子がよく見られます。11/23



不思議なことに「エナガ」と同じ群れに交じって「シジュウカラ」がいました。よくまぎれて一緒にいるそうです。紅葉とのコントラストがきれい。11/23



落葉を始めたモミジに、群れできた「アトリ」(冬鳥)。冬羽根になっていて、秋から初冬は森林の木の実を食べます。朝霧で白っぽくなっています。12/2



寒くなると山から平地に降りてくることが多く、群れでにぎやかにさえずる「ヒヨドリ」(留鳥)。11/26。



秋になると群れで渡ってくる「ツグミ」(冬鳥)。生活は単独でしています。11/28

鳥は、早朝に活発に活動することが多いので、ぜひ早起きして観察してみましょう。



この「カルガモ」(留鳥)は、博物館南側の池に最近飛来しました。11/29